

全建発第17～107号
平成17年7月21日

機関管理者 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第502回建設技術講習会(リスク及び危機管理)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員9万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められております。

このたびの第502回建設技術講習会では、洪水、地震、土砂災害などの自然災害に関して、リスク管理及び緊急時における危機管理対応を適切に行うため、行政としての判断のあり方、情報収集・提供の進め方、行政・住民・企業との連携など、非常時の対処のあり方について学び、防災対策の推進に資することを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬具

全建発第 16 ～ 310 号
平成 17 年 1 月 4 日

(各地方協会長) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 北 橋 建 治
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成 17 年度の講習会参加について (お願い)

本会の建設技術講習会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められ、職員研修の果たすべき役割は従来にも増して重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成 17 年度の建設技術講習会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に携わる方々にとって、業務に直接役立つ講習内容としており、講師には建設行政や建設技術等の各分野において第一線で活躍の方々を迎えています。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道 雄



第502回建設技術講習会（リスク及び危機管理）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成17年9月14日（水）～9月16日（金）滋賀県大津市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、洪水、地震、土砂災害などの自然災害に関して、リスク管理及び緊急時における危機管理対応を適切に行うため、行政としての判断のあり方、情報収集・提供の進め方、行政・住民・企業との連携など、非常時の対処のあり方について学び、防災対策の推進に資することを目的としています。

なお、本講習会は、滋賀県（予定）の共催、国土交通省・大津市（予定）の後援のもと実施することとしています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員..... 8,600 円〔うち昼食代 1,600 円（2 日分）〕
正会員（地元〔滋賀県内〕）..... 3,000 円〔 " 〕
非会員..... 13,600 円〔 " 〕
正会員（地元）とは、滋賀県内に勤務（出先事務所を含む）の正会員
聴講のみの参加は可能です

現 場 研 修 料：..... 7,200 円〔うち昼食代 1,200 円〕
（現場研修のみの参加はできません）

申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会
お振込の際必ず、振込名義の初めに、開催回数の「502」をつけ加えて下さい。

申込締切日：平成17年8月19日（金）必着（お申込みが締切日以降に到着したものは受理できない場合があります。）

取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

平成17年9月2日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成17年9月9日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記 を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。

事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」に認定された講習会です。（CPDS登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第 502 回建設技術講習会（リスク及び危機管理）日程

—洪水、地震、土砂災害などの自然災害に関して、リスク管理及び緊急時における危機管理対応を適切に行うため、行政としての判断のあり方、情報収集・提供の進め方、行政・住民・企業との連携など、非常時の対処のあり方について学び、防災対策の推進に資するものとする—

会場……大津市民会館（大ホール）

〒520-0042 滋賀県大津市島の関 14-1 TEL 077-525-1788

1 日目 平成 17 年 9 月 14 日（水）			（敬称略）
10：10 あいさつ	滋賀県知事	國 松 善 次	
10：30 "	大津市長	目 片 信	
10：30 （全般） 自然災害の危機管理	京都大学防災研究所長 教授	河 田 恵 昭	
12：00 ～最近の災害に学ぶ～			
13：00 自然災害の危機管理	京都大学防災研究所長 教授	河 田 恵 昭	
14：00 ～最近の災害に学ぶ～			
14：10 （住民との連携） 災害対策への視点	中部大学教授（元NHK解説主幹）	齋 藤 宏 保	
15：40 ～少子高齢社会の災害対策を考える～			
15：50 【地域事業の紹介】 協働による森づくり	滋賀県土木交通部都市計画課 公園緑地担当 主幹	苗 村 光 英	
16：20 ～びわこ地球市民の森～			
16：50 マザーレイク 21 計画に向けた取り組み	滋賀県琵琶湖環境部下水道建設課 流域下水道担当 副主幹	岩 崎 一 彦	
～滋賀県の下水道事業～			
2 日目 9 月 15 日（木）			（敬称略）
9：50 （実務訓練） ロールプレイング型危機管理演習	財団法人 河川情報センター 理事 危機管理業務本部長	岡 山 和 生	
10：50 ～訓練の特徴とその意義、効果等～			
11：00 【地域における技術苦労話】 “開かずの踏切” 解消に向けた取り組み	滋賀県南部振興局建設管理部道路計画課 課長補佐	三 浦 良 勝	
12：00 ～下笠道踏切地下道新設事業～			
13：00 （情報提供） 災害時の情報伝達と避難	群馬大学工学部建設工学科 都市工学講座 教授	片 田 敏 孝	
14：30			
14：40 （行政関係者の経験談） 新潟県中越大地震からの教訓	新潟県小千谷市 助役	佐 藤 知 巳	
15：40			
15：40 閉会のあいさつ	滋賀県建設技術協会長	谷 和 彦	

地域の独自調査

【現場研修】 3 日目 9 月 16 日（金）		
-------------------------	--	--

大津県営駐車場（8:30）出発

- びわこ地球市民の森 → 琵琶湖流域下水道湖南中部浄化センター〔マザーレイク 21 計画〕
（下車見学） （下車見学）
- 昼食（大津市内） → 第二名神高速道路工事現場〔エコ&テクノロード〕（下車見学）
- JR 大津駅（16:00）着後解散

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

C P D S 学習プログラム認定講習会

● ● ● 主な講師の紹介 ● ● ●



講演「自然災害の危機管理 ～最近の災害に学ぶ～」

京都大学防災研究所所長 教授

河田 恵昭（かわた よしあき）

1946 年大阪市生まれ。工学博士。

京都大学工学部土木学科卒業、同大学院工学研究科博士課程土木工学専攻修了。京都大学防災研究所巨大災害研究センター長などを経て現職。阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長を兼務。巨大災害、都市災害、総合減災システム、河川・海岸災害、自然災害論を専門とし、大都市大震災軽減化特別プロジェクト（文部科学省）研究代表、21 世紀 COE 拠点形成プログラム（災害学理の究明と防災学の構築）拠点リーダーをはじめ、中央防災会議「首都圏直下地震対策専門調査会」委員等、政府関係の主要委員を務める災害研究の第一人者。



講演「災害対策への視点 ～少子高齢社会の災害対策を考える～」

中部大学教授（元 NHK 解説主幹）

ジャーナリスト（都市・地域問題、災害対策、環境問題専門）

齋藤 宏保（さいとう ひろやす）

1947 年埼玉県浦和市（現さいたま市）生まれ。

慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、NHK（日本放送協会）入局。東京社会部記者、大阪放送局ニュースデスク、スペシャル番組部チーフプロデューサー、「特報首都圏」キャスター、「NHK 特集」「NHK スペシャル」等の番組制作・コメンテーター、解説主幹などを務める。社会派ジャーナリストとして、新宿駅西口バス放火事件を始め、コンクリート構造物の老朽化、酸性雨禍、地方都市の中心市街地空洞化、国土計画、大深度地下利用、ITS、都市再生等の取材・解説にあたってきた。

● ● ● 第 502 回建設技術講習会 現場研修事業の概要 ● ● ●

1 びわこ地球市民の森 守山市今浜町・水保町・洲本町地内

植栽基盤を含む公園施設は県で整備し、植樹については木陰となる木や施設周辺の植樹などを除き、県民等によるボランティアにより、苗木を中心に植樹していく計画です。

施設整備については国土交通省が地球温暖化対策の観点から都市公園事業で制度化した「平成の森づくり事業」により平成 12 年度から事業を進めている。

平成 13 年度末で「つどいのゾーン」の整備をほぼ終え、平成 14 年度から「ふれあいゾーン」を整備しています。



2 琵琶湖流域下水道湖南中部浄化センター 草津市矢橋町

琵琶湖の水は、琵琶湖周辺のみならず京阪神地域の貴重な水資源として大半をまかなっている。

湖南中部浄化センターでは、琵琶湖の富栄養価の原因物質である窒素とリンをできるだけ除去する「高度処理」を行っている。

また、下水処理によって生じる汚泥は、最終的に溶融スラグ化により減容化、安定化して、建設資材等への有効利用を図っており、処理した水や汚泥ともできるだけ周囲の自然環境に負担にならないよう努めている。



3 第二名神高速道路（エコ＆テクノロード） 甲賀市信楽町地内

第二名神高速道路は、「ゆとりある構造」、「安全性の確保」、「沿道環境の保全」などに重点がおかれ建設中である。

特に、甲南トンネル周辺では、自然景観や生態系の再生をめざし、表情豊かな川づくりや周辺との馴染みを考慮した法面づくり、また、動植物に配慮した計画を実施している。

それらの取り組みを総称し、「エコ＆テクノロード」と呼びます。

第 502 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿 泊 料 金：宿泊希望者には大津市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
宿 泊 予 約 金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
送 金 先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169
銀行口座 東京三菱銀行八重洲通支店 普通預金口座№1015114
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル 6F）
お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「502」を付け加えて下さい。
問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部日本橋支店 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169
「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 17 年 9 月 2 日 (金) までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 17 年 9 月 9 日 (金) までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

幹旋する宿舎名、宿泊料

平成 17 年 9 月 13 日（火）・14 日（水）・15 日（木）（1 泊朝食付、サービス料・消費税含む）

宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
大津シャンピアホテル	大津市逢坂 1-1-1 TEL: 077-527-6711	シングル	100 名	8,100 円
ホテルブルーレーク大津	大津市浜大津 1-4-12 TEL: 077-524-0200		60 名	7,300 円
宿泊斡旋人数合計			160 名	

* 宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。
また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

会場・宿舎案内図



社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
(特別・賛助会員名)

印

第502回建設技術講習会（リスク及び危機管理）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参 加 者		勤 務 先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現 場 研 修	宿泊予約金		
(フリガナ) 氏 名 (参加者が女性の場合は番号に○囲みして下さい)	年 齢		正 会 員	非 会 員			予約日に○印を 記入して下さい		
							9/13	9/14	9/15
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
聴講料 正会員・特別会員・賛助会員 名× 8,600円 = 円 " (昼食不要) 名× 7,000円 = 円 正会員(地元(滋賀県内)) 名× 3,000円 = 円 " (昼食不要) 名× 1,400円 = 円 正会員(地元)とは、滋賀県内に勤務(出先事務所を含む)の正会員 非 会 員 名× 13,600円 = 円 " (昼食不要) 名× 12,000円 = 円 現場研修料 名× 7,200円 = 円							宿泊予約金 泊× 4,000円		
計 円									

↓ 全建に振込

↓ 西鉄旅行に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕

お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。全建FAX 03-3586-6640 迄

〔聴講時の昼食について〕

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。

当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。

〔現場研修時の昼食について〕

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。